

外来医師担当表

平成27年8月1日現在

診療受付時間 平 日 午前8時45分～11時30分 午後1時～3時
土曜日 午前8時45分～11時

	月	火	水	木	金	土
内 科	脇田教授	中野准教授	高橋医師	脇田教授	交代制※1)	交代制※2)
緩和ケア・外科	東口教授	中川医師	伊藤准教授	大原講師	都築医師	阿波医師
リハビリテーション科	前島教授	前田医師	岡崎准教授	岡本講師	園田教授	交代制※3)
歯 科	金森講師	金森講師	金森講師	金森講師	休 診	金森講師
ものわすれ外来 (予約制)	脇田教授 隔週15:00～16:30		脇田教授 14:00～16:30			
セカンドオピニオン外来	園田教授 リハビリテーション全般 (不在の週あり)	東口教授 高血圧、消化器疾患、栄養疾患 15:00～16:00※予約制 脇田教授 認知症、神経疾患 15:00～16:00※予約制				

※1) 内科：金曜日は第1、3、5週：中野准教授、第2、4週：高橋医師が交代で診察します。※2) 内科：土曜日は脇田教授・中野准教授・高橋医師が交代で診察します。※3) リハ科：土曜日は第1、3、5週：水野医師、第2週：浅野医師、第4週：角田医師が交代で診察します。

ものわすれ外来の予約は**059-252-1555**までお問合せください。

看護師就職説明会

場所 藤田保健衛生大学七栗記念病院
時間 10:00～12:00

平成28年 1/23[±]・2/27[±]・3/26[±]

スケジュール

10:00～10:50	病院見学・看護部紹介 教育体制、人事概要の説明
10:50～11:30	病院内見学
11:30～12:00	先輩看護師との交流会

※都合により、変更の可能性があります。

交通案内：下記アクセスをご覧ください。近鉄久居駅・榊原温泉口までお迎えに上がります。

お問合せ 看護部・人事担当 メール hp4kango@fujita-hu.ac.jp

中途採用・潜在看護師大歓迎です。採用試験は随時実施しています。
お気軽にお問合せください。



【当院までのアクセス】

- 公共交通機関** ●名古屋・伊勢方面から
近鉄名古屋線 久居駅下車、バス榊原温泉口・榊原車庫前行（下村経由）に乗りし「七栗記念病院口」下車、徒歩約3分
※バス乗車時間約20分、タクシー乗車時間約15分
- 乗用車** ●大阪・京都方面から
近鉄大阪線榊原温泉口駅下車、タクシー乗車時間約15分
●伊勢自動車道
久居インターチェンジより7km約10分

facebook

セミナーの案内や、イベントの報告、就職説明会の開催情報の発進サイト

Facebook「藤田保健衛生大学七栗記念病院」
<http://www.facebook.com.nanakuri>



編集 藤田保健衛生大学七栗記念病院広報委員会
発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地の1
電話 059-252-1555(代表)
FAX 059-252-1383
<http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>



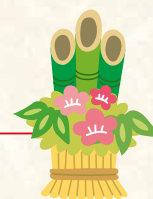
患者さまと医療をつなぐ

広報誌

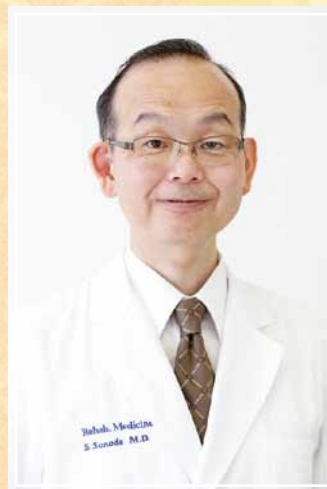
ななくり

Pick UP

リハビリ変遷



「七栗記念病院」と名称を変更します



病院長 園田 茂

新年おめでとうございます。

七栗サナトリウムはこの1月1日に七栗記念病院と名称を変更しました。

現在の私たちが展開しているリハビリテーション、緩和ケア、栄養サポートチーム、認知症医療などの専門・先進的医療と、療養のイメージもある「サナトリウム」との違和感が大きく感じられるようになってきました。そこで皆さまに誤解を与えず、高機能な医療機関であることがすぐわかる「病院」と名乗ることにしたわけです。

同時に、地域医療構想のなかで私たちが「回復期」の機能をさらによりよく担えるよう、回復期リハビリテーション病棟の拡張・強化、緩和ケア医療を一般病棟でも展開出来るようにする、などの計画も練っております。

今後の七栗記念病院にご期待ください。



病院の顔

リハビリテーション部 課長 奥山タ子



七栗のリハビリは、2000年12月リハビリテーション棟の完成とともに回復期リハビリテーション病棟での365日のリハビリ実践を開始しました。当時、全国の実践者として注目を集めましたが、15年経過し、ようやく多くのリハビリ病院が365日のリハビリ実践を当たり前に行うようになりました。私たちは、常にリハビリ病院の

先駆者であることをモットーに、現在はリハビリロボットを活用した歩行練習やバランス練習、手の運動麻痺のトレーニングを行っています。入院は限られた期間ですが、患者さまお一人お一人の退院後の地域生活を見据え、その人らしい生活が送れるように精一杯サポートして参りたいと思います。

緩和ケアコーナー

緩和ケアと在宅医療

緩和ケア病棟入院後も、ご希望の場合は、再び在宅で過ごしていただくことが可能です。七栗サナトリウムでは、在宅療養を支える、在宅医の先生方、訪問看護師さんなどと連携を取りながら、在宅療養に向けた援助を行なっています。また、在宅療養中、急に症状が増悪したり、患者さま、ご家族の身体の負担、心の負担が強くなった場合は、緊急入院も含め、再入院（一般病棟）していただける体制を整えています。

七栗記念病院 リハビリテーション部門の歩み

1987年に開設した七栗サナトリウムは2000年、さらなる発展のためにリハビリテーション棟を建設しました。このリハビリテーション棟2階病棟では、開設当初より画期的なリハシステム **The FIT (full-time Integrated Treatment) program**を実践し、我国で初の「統合的高密度リハ病棟」を実現するシステムとして注目を集めました。以来、つねに最先端のリハビリテーションの研究と実践の取り組みを続けています。



「FIT program」刊行

七栗のリハビリシステムが単行本になりました。

2004年6月

日本医療機能
評価機構認定

今も更新中

2003年10月



本館3階病棟改築

回復期リハビリ病棟を106床へ増床しました。

2000年12月



リハビリ棟開設 52床

週7日訓練を行うFIT programを日本で初めて開始しました。

1987年4月

START!



七栗サナトリウム開設

土肥信之先生をリハ専門医として迎えました。

2005年5月

日本医療機能
評価機構付加機能
リハビリテーション
機能認定

今も更新中



2007年4月



藤田記念七栗研究所に リハビリテーション部門新設

さらなるリハビリテーション研究の発展を目指して日々取り組んでいます。

2008年2月

全国回復期
リハビリテーション
病棟連絡協議会
第11回研究大会主催

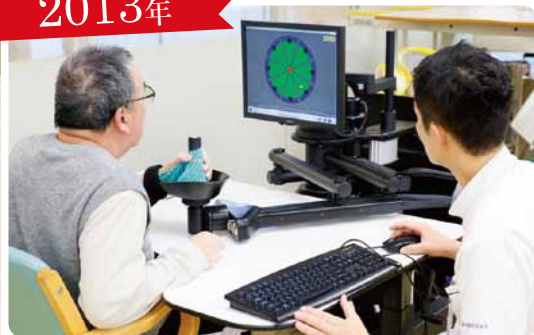


2009年5月

Advanced FIT program開始

麻痺改善のための訓練方法のシステム化を目的として開始しました。

2013年



リハビリテーションロボットの導入

日本で初めてとなる上肢ロボットを導入しました。藤田保健衛生大学リハビリテーション部門とトヨタとの共同研究で歩行ロボット、バランスロボットを導入しました。

2015年5月



園田 茂院長が回復期
リハビリテーション
病棟協会会長に就任

2015年5月

「最強の回復期 リハビリテーション」刊行

10年以上のFIT programのノウハウが詰まったpdfファイルが無料でダウンロードできます。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~rehabmed/nanakuri/>



さらなる飛躍!!!

リハビリテーション部門はソフト面、ハード面ともにさらなる飛躍を計画中です。

